

スクエア分割 (「パズラー」1998年12月号掲載作品)

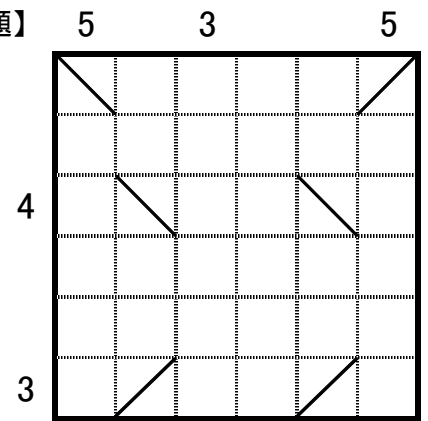
【ルール】

- ・ パズル面を、点線に沿って正方形のブロックに分割します。
- ・ 枠外の数字は、その列にあるブロックの数を表わします。
- ・ 斜線は、ブロックの対角線と重なります。

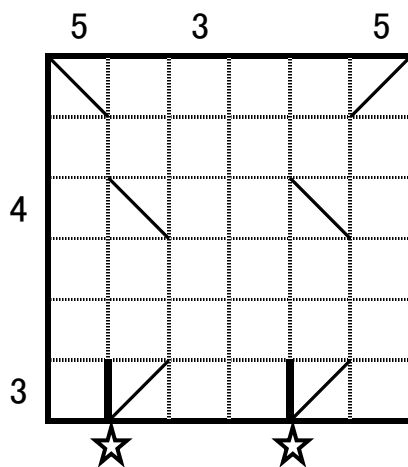
【ポイント】

壁の斜線と大きい数字は、一気に確定させるチャンス！
終盤戦や難問では、小さい数字をうまく手掛かりにしよう！

【例題】

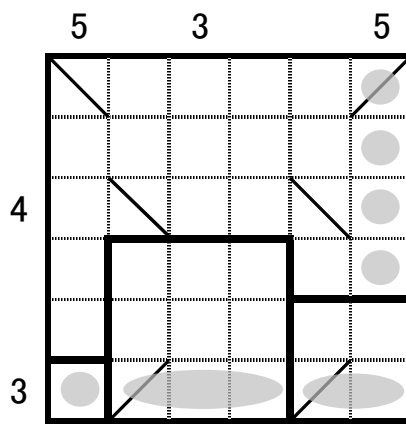


【途中図①】



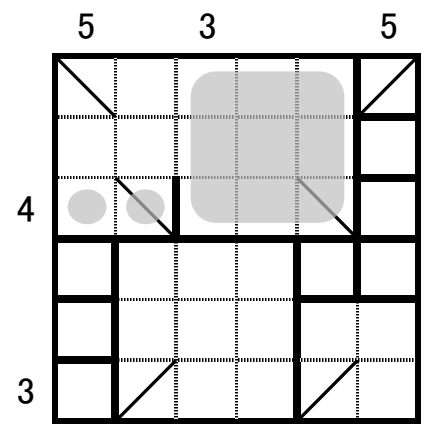
斜線が壁にぶつかっているところ(☆印)は「正方形のカド」になります。とりあえず線を引いて、カドを作っておきましょう。

【途中図②】



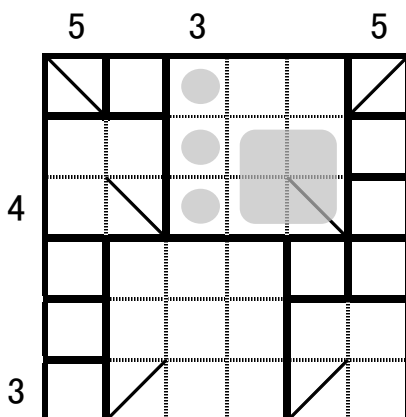
一番下の列が3つに分かれました。1×1、3×3、2×2の正方形が確定します。これで右端の「5」は、残り4マスすべて1×1に分割することになります。

【途中図③】



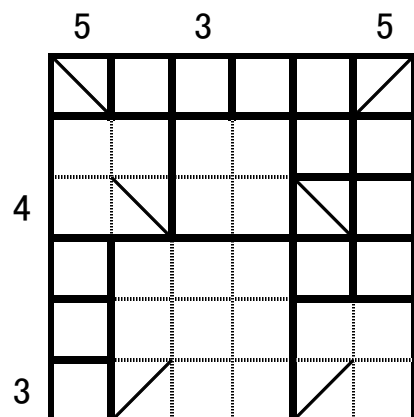
仮に上から3列目の左側に1×1の正方形が2つ並んだら……3×3のがデーンと入って……あらっ？ 左から3列目の「3」と矛盾しました。

【途中図④】



なので「4」の列の左端は、2×2です。残り3マスで正方形2つ。左から「①②」で分けたら……あれ？ 今度は左から3列目に4つ入っちゃいました。なので「②①」で分けて…

【完成図】



中程度の難易度を想定した例題でした。じわりじわりと論理を重ねて、ズバズバッと分割できる心地よさを、どうぞお楽しみください。

《サンプル問題》

※ 黒マス을避けてブロックを配置してください。
※ 黒マスは「ブロックの数」には数えません。

《サンプル問題 解答》

